

## エイリアンドローム (1981)

ALIEN CONTAMINATION

CONTAMINATION

CONTAMINATION - ALIEN ARRIVA SULLA TERRA

メディア 映画

ジャンル SF ホラー

製作国 イタリア/ドイツ

時間 85分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

## 【解説】

マカロニ版「スター・ウォーズ」こと「スタークラッシュ」で知られるルイジ・コッツィ（ルイス・コーテス）による、今度は「エイリアン」のマカロニ版。ただし、これは当時から囁かれていた「エイリアン」の続編ネタ（猫のジョーンズにエイリアンが寄生して帰ってきたとか、今度は地球が舞台になるとか）をパクった感じの物語。

マンハッタン近くで漂流中の貨物船が発見された。検疫のために乗り込んだ作業員は船倉にひしめく奇妙な卵状のものを発見するが、卵が破裂して中の液体を浴びると、人間も同様に体の内側から破裂してしまった。防疫センターに運び込まれたその卵は調査の結果、地球上のものでない事が判明。かつて火星探検隊が発見したと記録されているものに酷似していたのだ。その元宇宙飛行士と、事件に関わった刑事、それに女性科学者の3人は貨物船が出発した南米のコーヒー園に飛ぶ。そこは火星探検隊の一員であった人物が経営しており、火星から連れ帰ったエイリアンに人類を滅ぼさせるための卵を産ませていたのだった……。

エイリアンと陰謀劇をからめたストーリーも消化不良だが、肝心のエイリアン（一つ目がゆえに“サイクロプス”と名付けられている）の造形が暗くてよく判らずにイライラさせられ通し。一瞬、炎に照らし出されたその姿は太りすぎて動けなくなったキュラソ星人のようでした。ゴブリンのサウンドトラックはCD『コンタミネーション』として発売。

## 【クレジット】

監督	ルイス・コーツ	Lewis Coates	
製作	クラウディオ・マンシーニ	Claudio Mancini	
共同製作	ウーゴ・ヴァレンティ	Ugo Valenti	
原案	ルイス・コーツ	Lewis Coates	
脚本	ルイス・コーツ	Lewis Coates	
	エリック・トメック	Erick Tomeck	
撮影	ジュゼッペ・ピノーリ	Giuseppe Pinori	
編集	ニーノ・バラーリ	Nino Baragli	
音楽	ゴブリン	Goblin	
出演	イアン・マカロック	Ian McCulloch	イアン・ハバード
	ルイーズ・マーロー	Louise Marleau	ステラ・ホームズ
	ジークフリート・ラウヒ	Siegfried Rauch	ハミルトン
	マリノ・マッセ	Marino Mase	トニー・アリス
	ジゼラ・ハーン	Gisela Hahn	ペルラ・デ・ラ・クルス
	カルロ・デ・メイヨ	Carlo De Mejo	エージェント・ヤング
	カルロ・モンニ	Carlo Monni	ドクター・ターナー